

景品附入場券 勝馬投票券

毎日各競走毎に發賣

二十圓 金一圓

大連競

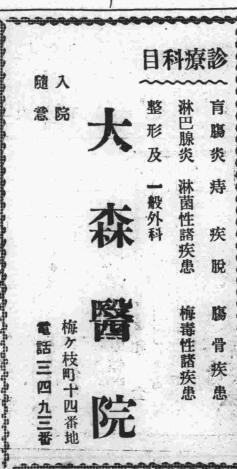
馬馬俱然

五三無部

十月一 ぜ 速前 日初めます 割 烹 3" 電話三四四五番



既に定評あり 隨入 淋巴腺炎 整形 意院 及 淋菌性諸疾患 一般外科



電話 二七八四番 月 水煖機 道 陶用材工 **初京日本橋道六〇** 电話三二五七卷 行 TARREST PROPERTY AND ADDRESS OF THE PARTY OF

御料理

高 Ш 勝 司 章 路時特別 開催日九月 蜡尼鄉 · 拉思 · 大 荷 品 ラ ラ ラ ライカ用引伸機 コダックナーゲルカメラ 1 力 力 D 遠 型 馬湯まで乗合自動車の割引あり土) 十月 1日(月) 雨天順延月 ヴァ 力 第二二二十時開始 中時開始

新泉區公示第十六號 昭和八年九月二十九日 昭和八年九月二十九日 昭和八年九月二十九日 省示ア

日

H

案

各種 井 新 京 銀

座 (吉野町) 館販賣部 **電話二三九〇番**



林

履物店 電路二二四四番

河北省政府漸く理解し

國際聯盟は

財政的危機に直面

は は は は は ない は で が で が で か るか ら れ の い で で か るか ら れ の い で で か で は 決 し て 彼 等 に 不利 全 で な で は 決 し て 彼 等 に 不利 全 で な で は 決 し て 彼 等 に 不利 全 で な で は 決 し て 彼 等 に 不利 全 で な

アマー

豫算委員會に於て報告さる

帝國の脱退等に起因

ロシア石油輸入

國策上よりも可なり

岩切次官ソ

聯通商部を談合

の會談で英米のみに倒らず安し、正午會見を終つたが、こ

を求め帰盟各級が依然分娩金 この事だ された賃貸委員會の宿上に於 選納を付けられるなら城際聊された賃貸委員會の宿上に於 選納を付けられるなら城際聊された賃貸委員會の宿上に於 選納を付けられるなら城際聊

蔣駐日公使

歸任に先立ち

黄乳、宋子文氏等と重要會見

(国京二十八日發國) 商工 名皆切次官。福田駿川局長は 年前十一時ソヴィエート通知 形次席ゲルスタインと秘書リ ルデーリ所氏を商工省に招い てロシア石油の事場を聴取し ロシア側は豊油の輸出は不可

侵表北午附近の支那軍は方振(東京北八日發國通)陸軍省

陸軍省發表

武器、彈藥、俸給を支給

部に動する河北省政府の程度 が最近潮く排解を作ひ不沸ひ

新破鋭の戦後型を完成し重明がの戦機で、即ちり軍の装備は最大の原際が最大の原

軍が緊急を要するのは開州 動場検説が流布されてゐる しい。現在陸 が根據なき浮説だ、現在陸 のは、現在陸

西北の山中に一部は延慶、赤水西北方に、退却し其一部は祭によれば方吉剛軍主力は逐

大口取引杜絕

〔北平二十九日發調通〕 佐枝

四北方へ

命の安全を脅かし、北磯野 高年の支持に基ぐものさ認 さられるから日本政府に對 さられるから日本政府に對

國閥が北國交渉打切りを企法行為はツ側で観れば満洲

府の考度を促されんここを

長に正式に配任した 楊子彬氏 赤峰辨事處長に

するものであるさなすは誤 逮捕事件さ北磯交渉が闘聯 で述べた。この結果本日外務 の場合にも譲渡変渉を速かに 視されてゐる 次官を邸で會

なる成立に依つて解消すべなる成立に依つて解消すべなる成立に依つて解消すべい。 く斯る問題の発生を防止 市内優別とと、数日來共産 且つ一時は日 市内機能を企圖して居るが公

後高麗堂に向つて攻撃し來た方振武率的八百は二十六日午 が二十七日の排騰さ共に東

に密雲へ歸還

陸軍談の形式で發表

陸軍

は否認

增設

方、吉軍主力は

園佐枝部除は二十七日朝牛禰
「北平二十九日穀巡邏」第○

方振武軍侵入に 體をの如く語られた

控へ各取引筋では大口取引 但し小口取引は相當敏活

北平附近の

高麗營を退却 て侵入せ 骨収協定運反のみなもず 石地域内に入れる事は明 規軍を單に名稱のみを改 満洲國將來の經濟發展に 深甚なる期代

大連に逗留瀬織則で協議中な大連に逗留瀬織則で協議中なく大連は八日登國通〕目下尚 し協議するごころあつたが 氏は昨日午後一時半山 署名國なる佛蘭西は海東の央したる際書俗規約の主要人したる際書俗規約の主要

所さならなかつた事は天下

次の三點を根本の條件させ

利々益の絶針奪重 相互の完全なる諒解の上に、有効且質体的なる協力は 満帰兩國の協力に際して

佛經濟代表ドリヴィエー氏語る なる國に於ても産業界に於からの内でを説明して)而して如何を登録して)而して如何をを説明して)而して如何を受けるれ度いさ思ふ(以上)を受ける。 **ち規律は繋然さして居る** つて、残つて自分が 三大原則に則つて之れを行って来たので唯今日その時 果を最長し得ない事を表だ 果を最長し得ない事を表だ のみ成立するものである

満州に於て何事かを含さん さするに當り日滿佛經濟協 許りの意味からではない 「この新しい返は生活機

ける信頼を懐いてある。 補強機を謳歌し、第三

類西産業関体は欧然参加し度

北鐵南部線 けふから開通

6今日編州に贈し、此の(島 ・13年に到米以來使命東大なり 日本に到米以來使命東大なり た(政治。財政。經濟)である **米たので一度もその関係が** ならもその後の情報によれば北鶴戦増(南部県)西屯・拉林

人事往來

もつき具体的なこさをお話が何れ大連を離れる際にはまだ · 十八日午前九時後大連へ ・十八日午前九時後大連へ ・ 一八日午前九時後大連へ ・ 一八日午前九時後大連へ ・ 一八日午前九時後大連へ

電話三人〇一

100

活動により同等はす歳なく全人北平二十九日景観点)方振

戦意を失ひ

方軍西北方に退却

訪問し日支外交話問題に関しの蔣氏の装結に依れば黄乳は使蔣作賓氏は仕八日朝黄乳を一き約一時間曾談して辭去した(上海廿九日發蔵通)駐日公一女を訪問同じく日支問題に就

輸還の豫定である 九月十日現在 九月十日現在

不侵入區から

撤退せねば自由行動

北平駐在武官から嚴重通告

動を庶親中であるが今後

方容婦合軍

T じ何應欽に對し酸重なる警告

「行爲で関東軍は北平武官を通

「行爲で関東軍は北平武官を通

「行爲で関東軍は北平武官を通 百卅二萬斤

師、第六百五十二、六百五十一一を那側は最近永平東方地域に受けるさいよ口質で支那軍不一一を那側は最近永平東方地域に

三鷹を保安第二機隊三改稱

開東軍は自由行動に出ずべき間以内に撤退を開始せぬ時は

参請官山本英制海軍大將は特(東京二十八日發國通)軍事 檢閱日程

四十一萬三千斤の増收である
・ 現在調査朝鮮の本年棉花收穫
・ 現在調査朝鮮の本年棉花收穫 山本海軍檢閱使

フェリシタ夫人

△十月四日から六日公長歌沖 △十四日より二十三日公場子 「江上流方面」 の豫定である

(横濱二十八日麓巡涌) 綾然 上海に向ふ

命檢閱使さして島田繁太郎少

ルメンを伴ひ上海に向つた

賣却高 四分利公債

付を持つ

資高は二億三千萬圓で、大滅 イションの結果、四分利公債 イションの結果、四分利公債

各地へ挨拶旅行

各地に出義したが歸京は一日年後別車で奉天。大連旅順の年代検拶の第二十八日午後四時に対する。 頃の検定である

井上書記官 九日赴任

新成大使館在勤を被命られた三等書記官井上登太郎氏は十三等書記官井上登太郎氏は十

検閲を濟まし十月二十六日騎 の日程により第三艦隊の特命 検須賀で軍艦砂高に乗艦。左 農作良好 開原地方

何れる境育良好である
大候に恵まれ。一般健作物は天候に恵まれ。一般健作物は明なる

黄河流域の

惨狀に

救濟金急送 日本赤十字

(東京二十八日後國通)今回の支那黄河流域一帶の数十年 來未會有の大洪水により死者 数萬を出した協訳に對し日本 赤十字社は中華民國糸紅十字 ▲京坡公立機學生六十名十月 三10年後三時三十五分警四 日午後三時三十五分警四

一分養治市へ 一分養治市へ 一分養治市へ 一分養治市へ 一分養治市へ 一分養治市へ 一分養治市へ 一分養治市へ 一分養治市へ

二億三千萬圓

前九時五十分發公中衛行豫部ルテル投稿大人の資本を開発を持た、日午前八十月四日午後、1時三十六分一月四日午前八十月四日午後、1時三十六分一次の資本を開業順二十二名 是投宿二日午前十一時二 一後三時三十五分來京富 三縣青年團二十名十月] 1 神 定 使 四 時 三 十 分 教 害 田 屋 投 四 時 三 十 分 教 害 田 屋 投

祥 柳田

開店御披露

二條條

目丁三町柴水

の折叉御來客の折には是非一度地に味気持のよい御座敷が御座います解 散步

へぬ美味をお試し下さ

ホール食堂では

生れた皆様のホール

るなける。

▲臺灣教育團十六名北灣旅館 中部八時智部本テル投宿三 中部八時智部本テル投宿三 日午前八時智部本テル投宿三 日午前八時智部本テル投宿三 日午前八時智部本テル投宿三 日午前八時智部本テル投宿三 日午前八時四十分最哈市へ 示

新京上下水道工事受付ハ工事 ・/ 関係上昭和八年十月十五 ・ 新京地力事務所長 ・ 荒木 章 申込は二十九名機②御引受け致します

京推方奏

員

候補

石最適任者ト認メ推薦ス

四區町 產

佐賀縣人會村產商有 小鉢物

會席御料理 氣持のよい 和洋食簡單に側食事が召上れ 食堂部御座敷自慢の御 二笠町三丁日新京銀行 鍋料

▲星野や佐以下十六体遺骨二十九日午後三時二十五分着新京一泊卅日午前九時五十分養育行 ▲選山浦小原小春一行二十九 日子が吉林へ 中野琥逸氏(熱河省穂傍鴫 中・野球逸氏(熱河省穂傍鴫 十分來京同日午後十時酸大 一十八日午後四時三十分酸 一十八日午後四時三十分酸 一十八日午後四時三十分酸 一十八日午後四時三十分酸 店員採用(配達係)

二十歳前後强建なる者市内保證人を

福田商店精米部

知ら

1 0t m 町盤常 常料 饅頭

老松町十六番地

護士大原萬千百

R盤町三丁目五番地

公子四年1月生)

し失職に陷るの患のるを以こ間業者仕余年の地段を覆

祝町二丁目十九番地

旅館業五味武太郎

つづけて るらのみであ

永(111)が講前から ・ 電子をに置手の不注意を充分 ・ 電子を記述を表している。 ・ でいるとは運輸手の過失 ・ でいるとは運輸手の過失 ・ でいるとは運輸手の過失

大同林業會社成立に

吉林同業者反對

おつたが、同事件に就き新点 11(七)さんを轢殺した事件が

城内一中中央通

おたいさは前に突頭響を れたいさは前に突頭響を した。 第局

を一関し總裁の前間に整列を 特ろさ、満歌なもびに奏樂に 特のて嚴かに總裁の前間に整列を 場を行び鄭國務總理の訓辭。 格あさ、満歌なもびに奏樂に が成時別市長代理の訓辭。 を一関し總裁の前間に整列を 地支部代表の礼辭。 を一関し總裁の前間に整列を

の種學を計畫ででもある中で展示を表現では異様というの種味を対しても無対しても無対しても無対しても無対しても無い。

失ありご認め過失傷害致死者司法係で嚴重取調の結果

るが責任上やむを得す過失傷 害致死さして一件書類を送致

指で萬病を癒す

減するために、國氏は適當

美座式療法創始者來る

出來ないものださ、私は過去でには實に苦惱煩悶致しまでには實に苦惱煩悶致しまでには實に苦惱煩悶致し

新

京

西古今の延命治病術を比較私の美座式療法健康法は卑

井氏の申出に深く感欲してる

大學來京し

て陳情

が甚しく反對し重大なる魅力のは、ことを耳にしたるものにて近之を耳にしたるものにて

鄭總理も臨場

迫なりき泣言を並

一大なる歴

るこささ承知し出りしも曾

|必要 | 親されあす

者の顔觸れは左の通りである

(三十1年八月生)

中央通〇

二十八番地

長沢端洲崎政府管業部で支資 を見んさするの程度に進捗したさのこさであるが本台社成 では在端同業者間に於て反對 がなり、では、であるが本台社成 がなり、であるが本台社成 がなり、であるが本台社成

等は大事來京し關係常局に之れが成立阻止の運動を開始した、由來吉林在留邦人の大部は林業關係者にして近く之れが留め吉林哲留民大會をも開始した。由來吉林在留邦人の大部は林業關係者にして近く之れが自然を求め全議不材業組合即合會を求め全議不材業組合即合會を求め全議不材業組合即合會を求める。

非の判断は下し続 能成立の各種條件

勝れり」のスローガンを掲り では自分で守れ「健康は富に をは自分で守れ「健康は富に である中に弱り「自分の健康は富に である中に弱り「自分の健康となる。 である中に弱り「自分の健康となる。 である中に弱り「自分の健康となる。

あります。母は子供を強く あります。母は子供を強く あります。母は子供を強く ない。女は元のために、女は元のた

辯業

(十一年三月生)

日に控へ

感よ最後の決勝

邦人側の顔觸れ

全く出揃ひ

地委選擧の

影

躍る岩き一女性

「鐵砲代りにタイプー」

昭田候補令職 沼田當子さん

婦人さしての第一線にせた。 教理も終るさ彼女は断然職業 整理も終るさ彼女は断然職業

3

んで昨春東京の高女を卒へる 新京永住の劇悟を決めて來る 六月第一線目指じてはると 六月第一線目指じてはると 一次の私院秘書さし でお伴をして來たのが電子さ にお父さんの私院秘書さし

家庭でも更に上級の女子

に躍る若く魔はしき一女性の を一それはわが沼田侯補のを めぐる非常時に描き出された がるまれてもあるのだ。 ウ味だ中に邁進する覺悟を决 でするりき薬でて非常時のマ でするりき薬でて非常時のマ でするのが望な

も感慨深けに常時を追想する。 沿出氏はこの間の經緯を説明 管は僕にも大きい男の子が もこで兄の身代りさしてゼ ひお父さんの手傳ひをした いさいふのが彼女の念頭だ

記さになったのだ 軍司令部のタイピストを選ぶ こさになったのだ

氏の立候補に對 り小さい胸を痛めてるる。 る語を時常非

自選舉について聞くさ快活の能力会であるが。今度の地方会

つて甲斐々々しく働いてゐるであり、私段秘帯の役目を守

は今なほ父の唯一の相談相手

家にあつて

べもあるして既に

英國東洋艦

隊潜水母艦

題を行つた、今日辺の兄玉博地の兄玉邸に至り再度實地檢 四十二時三十分聖總詞一ノ三五番

闘門要塞地帶撮影が

出帆日變更

月一日を三日

官事大將は余の部下に要察場であり離離が乗れば責任者處

右新京地方委員最適任者ト認メ推薦ス

大

原

萬

百

±

影の事實絕對なし言疑明書を

す。さうで れない間

子さんを訪れるさ 世は非常時でするの、お してお鷗のため働いでは してお鷗のため働いては

なきや何れにせよ林吹及は なさや何れにせよ林政及林出されたるものにあらざら

善處するを必要のここも思る上海を使日に残さいる談 も充分調査研究を重ね

第一日七日(土曜日) 第一日七日(土曜日) ・ 配念式表彰式、中前九時 ・ 政整管 午後一時半 ・ 演藝管 午後一時半 ・ 一、演藝管 午後二時半 ・ 一、演藝管 午後二時まで か6 午後二時まで か6 午後二時まで か6 午後二時まで

見玉博士の下手

愈確實となる

配念式後二日に亘り種々の優

地方委員立候補二付御挨拶

しがあるそのプログラムは

レー機関は然ユルモノデアリマス、貴下ノ有セラルル清キ一県ハ私ノ貨落ヲ支配スル億ヲ目標トシテ各位ノ窓思デ委員會ノ上ニ遺憾ナク反映セシメ以テ其ノ使命ラ全フスニナリマシタ不肖帝ヒニ常選致シマシタ時の地方委員ノ使命デアル一般民衆ノ陽祉治断京地方委員選挙ニ際シ突然乍ラ立候補ラ賞シ月權者各位ノ厳正ナル審リヲ煩スコト的トスルコトニ於テ同様デアルコトハ各位既ニ朝戸気ノヨリラフ!

アル客リア煩スコト

新京地方委員候補者

新京人船町四丁目は九ノニ

B増】 大連娘 | 士及び順係者を取開べる大連のトランク詰事件検證

してお鷗のため働いて見れ さしてるられませう。私は きしてるられませう。私は かつてお園のため働いて見れ したいさ思ひますがごうして安閑 要せず從て糊塗的端縫的のなかしも時流に適合するを

帶撮影せるを門司水上零員に就は閘門海峽通過の際要塞地 洋艦線潜な母艦ミフトウエー(東京廿八日發図通)英國東

ストに脅い

新京高女

北日本汽船會社代理店北鮮運 時株式會社扱ひの講加丸は毎 月大日十大日二十六日の三回 規基清津を出帆。天草丸は毎 月一日、二十一日、三十一日 の三田県じく雄基清津を出帆 教費さの間の定明航海を出い も三日出帆に、變更されたか も北鮮経由内地への旅行者は 電電ありたいこ

十周年記念式

立候補に付き御挨拶

新京第五區町內會有志

礼線連絡 大連奉 打切り 大チチハル線

街細菌協査所で徽章、動物協成でより最高として二十五日午 似ベスト患るさし處置し四平 査の結果二十七日午後九時四

さざる中充分の研究を娶り 成は却て大なる障害を来ら

林省林場の権利關係非常

立が満州の林業に對し遺

なきや將來斯ら骨社の

競展を齎するのなるや否

時代に吉林牙貨を司なる 行ふ如きこさあらば大清國代金の徴收等政府の代辦を

ありて之等の代辨を爲せ 最も古き制度に逆軸せ

洮南城内は ペスト眞症一名

洮南城内(大東門)附近で二十

年記念式を単行されるので江七日午 顛九時から創 立十周 七日午 顛九時から創 立十周 醫大音樂會

して民衆の休成を主張する只一の炎器たる地方委員の使命さ責任の益々大なるものあったへ居留民の蚤事に對する闘心も遊聴依然たるを許さざる狀態にあります此時に富り、登展さ共に益々多事多端に赴くべく殊に治外法権領や裁判権州馬明徹殷問題号を目前

る評職も持つて居る間りであります先年支那全域に且り治外法権が遠からず撤廢され に関與すること四年 乍多少支那及湖洲法院裁判の買駅を知り叉辯護士ならでは知り得ざ

にして条器にあらず三雖も幸支部及論洲に於て司法事

のある

來る一日高女講堂で 和樂を中心として

所、商鐵俱樂部主都、新京条の古代の一個動を禁じ得ざる此頃新水の人々に日本趣保爾奥の機質があれた、即ち新ぶ地方事務がある。 な一夕は建湖の大葉に日夜いな一夕は建湖の大葉に日夜いたる事さ思はれる、尚入塩無料にして其富日はさぞかし盛かしながらがき想像するものであ とする情勢に在りました宮時治外 法権協議は支那法院の改善を前提さし現狀に於ける撤 地方空員の候補に出馬する事でなりました盆崎地の現状に対する単位の大いに注文があります右様な吹第で議別に 地方空員の候補に出馬する事でなりました然し盆地に参りまして僅 に一年にも選せ中知 地方空員の候補に出馬する事でなりました然し盆地に参りまして僅 に一年にも選せ中知 地方空員の候補に出馬する事でなりました然しるが大いに注文があります右様な吹第で議別に 地方空員の候補に出馬する事でなりました然し盆地に参りまして僅 に一年にも選せ中知 人も甚だ少く如何をる努力も及ばざる事で存じますが皆様の深甚なる同情により末常に でも宮護さして下さる様弦に立候補の鋼挨拶待々切に御順申上ける次係であります でも宮護さして下さる様弦に立候補の鋼挨拶待々切に御順申上ける次係であります でも宮護さして下さる様弦に立候補の鋼挨拶待々切に御順申上ける次係であります でも宮護さして下さる様弦に立候補の鋼挨拶待々切に御順申上ける次係であります

定したものと如く既に名乗りつたが顔觸れは大体これで决

日本機鋼大〇番地

(二十五年九月生)

特產商佐藤宇治太郎

(三年)月生)

日本橋通八十五番地

0

問護士

(ti)+7年+1月生)

火花散る地委戦

も明日一日を残すのみこな

が、戦は最後の五分間、各既にほで決したさも見られ

羽衣町二丁目八號

會址員

中山恕世

(二十五年)1月年)

疲勞しのです

鍋町一丁目三番地

(二十四年十月生)

保障 得丸助太郎千鳥町一丁月三番地

入船町四丁目三十一番地

見を轢殺され

尚運轉手の助命運動

石井亥之吉氏の申出でに

當局もいた

たく感激

伊東正夫

0

(二十八年十月生)

0

(1]十二年] 月生)

特產商 上田賢象

(二十一年五月生)なほぼ日和見又は裏面に運動を世、吉野町川丁目王昭庭。富世川川丁目野昭に立つてゐるがその他はまで、三笠町四丁目劉鳴のは、高いでは、一十一年五月生)

着列車で吸京同夜は西本願寺

田》

地方委員候補者

記電話四九〇五番

右最適任者ト認メ推薦ス 新京地方委員候補者 正,

日本僑町內會有新京飲食店組 志合

海 候補

ス

一營會內店業 業有會組組 租有合志志合合

右最適任者ト認メ

も正月七草の豊、見分等に向

は遊びに出して、たった一人で

命まで考ふほど惚れ込んだお敬

棚脂忠太夫の懐中した紅機客の同情 CID (五十二) 彼さんもゐるから可いや」 つたで、何うでもならう。寒所に

相川忠太夫を案内人として。 「折角親分の言葉だるそんなら行 熊天 山港りで一杯やら 月になって、未だ観音

しと山吹色

お茶の、「「「なっちょう」としたお八重の事。自分が既か出したお八重の事。自分が既。 という こうじん はんしん お八重の事。自分が既れている。

『有職らがす。久し振り遊んで来 五六人は暮んで出て行く。 験に

り物質物の激な。樹土四郎左衛の物質物の激な。樹土四郎左衛は一大概等数したが、「妹」はお類は我心に微はざりしゆえ、

は女嫌いから女好きに髪

かる所



似)行

香 梅 丸 はるびん丸 はるびん丸 にもまれ 大連出紀)

から皮を変がされば金々駒境に陥るべき日本がのでは、 「新田県間して焦 ご援助を蒙り福利加

電話 長二〇三六番

ボッチャンの

全 赤煉瓦

製

造

三十錢より二圓まで

安 美情で い

繁價 奉 仕

チ養ごと

命;夕

紙酒煮油

三圓五十錢

四升五合人

腎油ノ鑵詰

散歩の



赤己士

●一日の人 計談せる事にカーの及ばざる憾あり分を守れらしき未ぎ寅が吉 日き未ぎ寅が吉 には失敗を繰返さん凶悪日

圭

殿酉

院長醫學博士

電話二七〇三番

会議

すったが飲みきが居ますから、何でも美味い物を取答せさせやせら」

元

鼻咽喉

科

專門

人院隨時)

初京梅ケ枝町四丁目二番地

一族人作問の手前もあり、

長衛は耳馴れた野智だから! 標準の 大衛は耳馴れた野智だから!

各地國際運輸會社支店 大阪·商船株式會社 大阪·商船株式會社 電話四二三七番 電話四二三七番

制引達用期間ニケ月) 一案内房 ・ 一等の一等のでは、一等のでは、一等のでは、一等のでは、一等のでは、一等のでは、一等のでは、一等のでは、一等のでは、一等のでは、一等のでは、一等のでは、一等のでは、一等のでは、

「ヤア自山の先生がやありやせん

つてお見んなせえ」

電話二五三七番 茂

社資 組設計部 新京日本橋通 中野 市島 市田地之助

こま未ご受が吉

元氣を奮ひて大

の人 心に油筋なく萬

行新京支店 電話三七三一番

县他洋服附屬品一切 紗 新京日本橋通廿五 裏 地 番地

卸商

會御料理

御料理 東

命ラ偏二御駅と致シマス御晩酌二御宴會二滿洲第一ノ銘酒トシテ皆様ノ御愛飲御用質宜傳ノタメ特賣致シマス

電話三一五九四 吉

隨入 意院

屬產 院 京 た言話

福田商店

廣告の御用は 電話三二〇〇番へ

皮梅科小 小兒科 外科

好集 看護婦。見四看護婦 쨏 新京朝日通十九番地(**領事館**里) 都

產婦人科

食 食 道 京 樂

内外線電氣互事並二動力据付 **(E)** 新京老松町十二番**地**

大昭公司電氣部

海州國電氣指定商會 電話三三五〇番

電話 四八二六番地

庵

お二一四七番 七番

法律相 民刑事訴訟 談及 專 鑑 件定 沼田勇法律事務所 契 書の 作成

貸 工場新京 地貨家の 管理 南關宋家屯

但シ南樹及城内方面ノ御用へ特ニ格安ニ即相談ニ贈のマス 德昌公司窯業 事務所 新原東四條通十九番地

米ピ酒 ゲ荷 称京富士町二丁目 西 村 電話二六〇 洋 行

特約店

電話二一三七番 吉野町二丁目五

全滿酒造界ノ カシ 代表

十點中最高優等賞ノ榮冠ヲ頂キマシタ芳醇アカシヤ正宗品關東州酒造組合主催第十五回清酒品評會二於テ出品清酒四 特價一升 淸優酒等 (瓶代共) ヤ正宗 一圓五十錢

北支の動亂

近く

段落か

ムラ會議

第三日は卅

日に延期

財が下附されました。 瞬金ア七年間運動してやつき旅行発

石井 深井兩全部

日

神戶着

新心に説得に努めた所ュ大使 の斡旋に乗り出すだらうで の対応に乗り出すだらうで のがでは自分も以 では自分も以

| 大人人人 | 一大人人人 | 一大人人人 | 一大人人人 | 一大人人人 | 一次・勢ひを 井物産では取取へや世八日神排像の嵐を衝いて産業は水を が世界に誇つてよい事で、三 | 大阪世九日命國通)世界的 色人絹ならまだしも色物の註

(-)

n

出動すると聲明しながら未だに出動せ走中であるため劉、湯兩軍は二十九日方振武軍は廿八日夜昌平北方に向け逃

「シムラ世八日發國通」シュラ世八日發國通」シュラ世八日發國通」シュラ世代日日は世九日に開かれる響のきころ印度側からボーア商務長官の病氣恢復せざる気、常日の會顧に出席出來してもよいが如何さ言つて來してもよいが如何さ言つて來してもよいが如何さ言つて來してもよいが如何さ言つて來してもよいが如何を示して

の三項を友誼的に考慮する

招に明示した仍つて

國防充實

の必要を

陸軍から發表

國際關係緊迫ミソ聯大陸軍の

完成に備へるため

局時に帝都の上卒を冷襲し得 を機数十臺を配置し、開戦さ

白人搾

地が

作和は來ないだらう

もある間は

和のために

ダイムダン特派員來京談

出来事は各紙さもそのルータ

こもそのルータ 京警察署様上調堂で新京に於ける賃替取扱業者の集合を求め印度 め横山理財課長が貸替管理法を取り印度 め横山理財課長が貸替管理法

あす新京署で

晏如一 たる能はざ

に至つた。在シムラ三宅機関は世六日終了したが同舎機関はサ六日終了したが同舎機関はサ六日にか同舎機関はサ六日を開発すで

印度棉花協會長

事よりの報告に低れば印度标 日本に對する印度吸騰の措 盟は不常被まるものである 盟は不常被まるものである 即度紡和の不振は政府の貨 管理政策に基くもので此 の點に関しては能心日本政 の點に関しては能心日本政

より隠むべしき論じな 文撃し日印倉商に獨自的立場

三半時穂兵敷百廿九萬。飛行た從つてソ國軍の裝備は歩兵を機性に供し軍備充實に努め

工業の競響さ相俟つて質に於野の袋甲自動車及び化無戦都の袋甲自動車及び化無戦都

日貨

壓迫も

のその

物凄い邦品海外躍進

セメント、人絹の大量註文來る

日本を呼て來聞したが氏は、日本を呼て來聞したが氏は、

本品十一割英品一割の開税案へき云ふにありますが、今後のシムラ會商に於ける日本の期間脱退も、やはになります、現在の印度の産になりますが、明在の印度の産になりますが、今はのシムラ會商に於ける日本の別になりますが、今は

通信一

新梅豐富量

日滿臺連絡運輸會議

滿鐵提案

附 日鮮満川班券第二航徑路 中門司、鹿児島相互能の徑 路は服客の撲棒に姿すこと に改正の件

は0たる場合に於け、周遊券所持客が逆

四、省線、島線列車運輸時刻 の、省線、島線列車運輸時刻 を二十四時間側に統一方考

の最も利目すべきは、福州事か今日迄の態度を俄然一變し で約二ヶ年振りで始めて親日 の論説を

を以て來るものさ好盛親され を以て來るものさ好盛親され を以て來るものさ好盛親され

雅く遠にかるラス號の曳航せるライターのため間に放突し ライターを表だしく損益せし のたのである、大詞は幸にし て損害なく航行支障を生じる。

堂

A

大、日鮮 婦 周 班 学 所 接客 か 自己の都合に依り放け中止せる場合所乗 単 區 馬の 普 祖 達を ひ取り中止せる場合所乗 単 區 馬の 普 祖 達

は旅客の希望に一致し嘘き は旅客の希望に一致しなりに付(内)に対して

異あり実取譯の盧珥上統一省、局の鼓靡は取扱方に差

(2) 成物関係 (2) 成物関係 (2) 成物関係 (2) 成物関係 (2) 成物関係

朝鮮農務楔を統制

殖産貯金楔に

運賃機額より細別區部券片現行に於ては周遊路中に於て旅び

で連絡取扱が改正の件 で連絡取扱のここに改めま で連絡取扱のここに改めま

直接観味あるに付着及品に明細客に記載の事に改正の明細客に記載の事に改正のを登し特殊通過事項は荷物を登し特殊通過事項は荷物

楚洋服店

乘出す

廿九日リ満代表交じを續開 の曙光見の

を行ふべきことを りの意向動き解決への曜光か とを行ふべきことを との北戦交渉も廣田外相の辞 に乗出して満州國の千萬国と が表出して満州國の千萬国と が表出して満州國の千萬国と

十月十日頃開催をなすこことなった。 実路問事項は左の通の決定した。 実路問事項は左の通の決定した。 夏島均衡方針に對する政策 夏島均衡方針に對する政策 夏泉國待遇主義の再建き互

文 民間當業者組合設立方法確 民間當業者組合設立方法確

大連航路採山の旅客飲増備州湖建河に伴び大阪商

DI S

質易器係就中質易物衡政策信託、石油、学毛等の原料

日館議员近版答繳増の現勢

全形が新点住場をはし居る現在開遊券所有者の殆んご

合に比し苦しく旅客の負曜に現実せられがある日鮮

日鮮病周遊券の選式をク

ラパラに切断され取扱业場では5番点の旅行に依り各なる貧長途の旅行に依り各なる貧長途の旅行に依り各

に付右に依の臨地閣度 に付右に依の臨地閣度 に対す破資の個遊順体券に 以上、最級及局質内型とユーロー に於て破資の個遊順体券に が出版並打切選等賃精棚に 記し、対し、 主義」に利用されてる様は

連貫制引の取扱を含さざる 終ては乗越温間に動しては 終でが便路乗起の出合社に

帳表類を整理し取扱の簡易

防艦大同

ライターで衝突

「大连門十九日酸 通」大阪朝日新町社事粉上野氏の三名は ・ 大海の二十九1一はもびん丸」で ・ 来満した

ソ聯商船の曳航

せる

極理課員 前野 貞俊

のに重洋に、例へ一寸のの提携が出來てるません

土地でも。白人の搾取地がある間は世界平和は来ませんか 6日本は今後東洋の盟主さして大亞細亞解放のため努力して大亞細亞解放のため努力して大亞細亞解放のため努力しく脱却する様

香五〇人三蛤司

つ號を認めた舷 を通過せして、即ち前貼川點を下航中のた。即ち前貼川點を下航中のの曳航せるライターで衝突し 北鲜経出東京~!! 大阪~!! る無常

112 7



8,50

13,20

22,05 22,20 22,00

22,55

111 福車

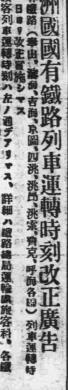
吉 林。朝陽鎭。山海關間

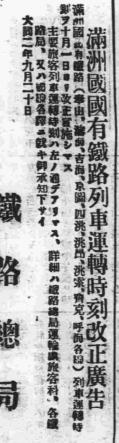


42 和 年

着19、25

































理は世より世界に是非共福用理は世より世界に是非共福用である」さ、及「孔教の原理はないのである」さ、及「孔教の原理はないのである」さ、及「孔教の原理はないのである」さ、及「孔教の原理はないのである」さ、及「孔教の原理はないのである」さ、又「孔教の原理はは言行一致になって、此は孔教の原理は最も診察すべきいになって、此は孔を合して一致さなして居ることがの原理はなって、此は孔を合うして、というになって、此は孔を合うに対している。

根本にして誠家新命の寄する さころのものは、数を置いて を して、各種文明の模 を である、最文明の法制は天 のである、最文明の法制は天 のである、最文明の法制は天

根本にして顕家新命の寄する 沙分氏はつ 数は支那獨得の

度執政は舊典を修めて親ら この欲せざるこころら人に施 すなかれの道であります。今

式あり緩いで國歌合唱の理に は秋晴れの西金園グラウンド は秋晴れの西金園グラウンド は秋晴れの西金園グラウンド は秋晴れの西金園グラウンド は秋晴れの西金園グラウンド は秋晴れの西金園グラウンド

和た、十二時半までに於ける 名競技決勝成績左の如し 本千五百米決勝 一着 張慶和(奉)四分三一 村二分ノー、二者 劉佐卿 (吉)三者 王懐偉(奉)四者 劉茂綱(県) 五者 楊志春

式あり緩いで國歌合唱

の目力を以て孔紋を深く研究問題は世界的眼光で散白年後

斯脱氏は「最近一の價値ある教育さ符合する」ご又英人裴

「東京二十九日時國通」第六十四語書を通過した改正恩 「東京二十九日時國通」第六十四語書を通過した改正恩 特 改正の限目並びに其内容等の處置方に努力し準備工作を 大体完了して今や實施の日を持つばかりきなつた 大体完了して今や實施の日を持つばかりきなつた 大体完了して今や實施の日を持つばかりきなつた 大体完了して今や實施の日を持つばかりきなつた ない故に 数の精養は必ず水 深遠なものであります。 を始すべきである、己の欲せ 以て現代の悪連を消除せしめ を始すべきである、己の欲せ 以て現代の悪連を消除せしめ がるさころを人に施すなかれ る積りでありますが故に建め はより外になし、其の靜観深 揚して人を抑へず、人を傷け がを超越して居るこきは萬 すなかれの道であります。 中間の人倫の道及純世治師の 己の欲せざるをころら人に施 を組起して居るこさは萬 すなかれの道であります。 中間の人倫の道及純世治師の 己の欲せざるをころら人に施 を組起して居ることは萬 すなかれの道であります。 中間の人倫の道及純世治師の 己の欲せざるをころら人に施 を創を超越して居ることは萬 すなかれの道であります。 中間の人倫の道及純世治師の 己の欲せざるをころら人に施 を創を超越して居ることは萬 すなかれの道であります。 中間の人倫の道及純世治師の この欲せざるをころら人に施 を創を超越して居ることは萬 すなかれの道であります。 中間の人倫の道であります。 中間の人倫の道と神へず、人を傷け

以て現代の悪連を消除せしめと人類の苦痛さ世界の危険に、投資が出来であるのは、

第二回體

育大會

後は先づ王道を提倡し己を賞

まります。米人の李佳白氏は 理にして支那に於て頭用する のみならず外域でして であるならず外域でして

もので

過酸なるさころなし」で言 子は女行徳信を軟さし、惨

マストに國政、大台族が掲揚った。 大台總裁たる鄭徳理の訓示、新尽市長の祝辭期讀をのべ選手代表の官督と代表して、 大台線裁なる鄭徳理

等川野(駅)四等提世安八六、二等。日春育(吉)三八六、二等。日春育(吉)三

得點錄一點 黑三點、吉七

帰係の上田、佐線の對戦はま 一々訪問して頻々に戦況の進

たでは運動も萬事順調に進んをがイの一番に名乗りをあげるで大いに奮戦これ努めて、

孔子祭の意義

凡日の大事を創造する主たる

めを致し度い 覚悟でみます もなく老後の率仕さして皆

情すべく悲遇に富かれるに至さになり、佐糠氏は傷めて同さになり、佐糠氏は傷めて同さになり、佐糠氏は傷めて同きになり、佐糠氏は傷めて同じ特殊がある。

た形で極度の苦戦を頑じてる る佐藤候補を祝明 でする形勢は全く逆轉し弱 でする形勢は全く逆轉し弱 ってるます、かういふこさ にならうさは夢にも考へな かつたのです。このうへに は一途に皆様の御援助によ

金す尖鋭

百票あれば當選は全く 結果は同夜

名、同豫帽委員八名を選ぶこで投票をけび地方會委員十六年前九時から室町小県校内地方会委員十六 になったがさきに の調べによ

ありんそ三十八百名でなつて 内め数三千四百六十二でなつて 人物数三千四百六十二でなつて 人 1、清洲人個人六一三、法人人一〇八計二八〇八法

世生り +七票に過ぎなかつた、今回は前回に較べて有權者三千六百名のうち實際の投票はまづ二千百票乃至二十二百票の見込である。これを定員の十名に振分けるさ半均百卅票で、堤來の結果からして平均の半分以下即ち五十三下以上あればごうにか繁選圏 得ら者二千百三十三で、なほれのうち富日選典権を行使し名のうち富日選典権を行使し 實際投票したものは

かくて午後四時までに全部の や票を終り、整理のうへ同五 や票を終り、整理のうへ同五 でである。 なる。なほ前回では 丸山直助氏が二百二十七票 の最高を占め以下満域。市 中さつ、含日本人の最下位 は五十票。満人は僅かに十 四票で當選してゐるが今回 は競爭も相常敵甚だか6大 なる番狂はせのない限りも んな開きを見ないであらう さ見られてゐる き目されて は全く確實

であるやうだ、氏は熱さ力の日の見地に立つて堂々さ一般目の見地に立つて堂々さ一般目の見地に立つて堂々さ一般目の見地に立つて堂々さ一般日のやうな男も地方委員に一人位はあつても朝白からうさが今のさころまだく安心する程度には至らない、加藤氏たるものなほ最後の努力が必要であるう 伊東氏も てゆくので他の # 補者に取っては相當の痛手だが、除に佐 は相當の痛手だが、除に佐 に大きな明待をつないでゐた でけに全くタデくの形、ごころハッキッ見當もつかぬが ごろハッキッ見當もつかぬが

は、 田氏が八方各方面に力を延ば 田氏が八方各方面に力を延ば 田氏が八方各方面に力を延ば の機・ の他競 當選圏内に

田、佐藤



挾撃に遭つて苦戦の佐藤氏

に練つてみダがなく新顔候補 してゐる模様だが、さすが驟 を効果あつて漸次局面は展粥

男加滕金保氏。新進氣鋭の意いつも朗かに元氣のよい人氣

加藤金保氏

改正恩給法

十月一日から實施

少年の國防な 大阪商船支店給仕

忘れられやうごい

ふこの頃

票が少い

日禰官憲の非常なる活動によれ治安は

憲兵隊で

も感激

武林くん

外型。秦六四。 第二世。

魏丕智(嗣)六等

大連の拳銃強盗

逮捕さる

事件の犯人らしく目下嚴重取 社員永谷某のモーゼル鉄<u>芝</u>健

古凶禍福

THE PERSON NAMED IN

るたもので深谷原(二四)を云

何處も同じ秋の夕奈だ

分光つて居る▲ミドリに氏

盛んに押費してゐるが處さ

一体上寸 せられ端洲 から軍官窓に動する感謝の念がさもずれば失はれんさして ある折摘一 少年が薄給をさき ひる折摘一 少年が薄給をさき

金し民衆に少からず刺激をあれば僅かですが自分の小遺観 たべた。二十八日午後七時ご ろ断京憲兵隊本部へ小倉馬色 を下へた。一十八日午後七時ご れば僅かですが自分の小遺観 の一部に加へて下さい」さ届 加た、同隊では少年の行為に 深く感激しれに回い資金献納

一調查一中中通二十

軍人になれる せめて

商船支店に給仕さして雇はれた。 同少年は本年三月室町小た。同少年は本年三月室町小た。同少年は本年三月室町小た。同少年は本年三月室町小 新京補習學校在學中である

筋違ひの保護願ひ

別れておき乍ら無断家出と

原支店に訪へば左の如く語つこの感心な少年を大阪商船新 献金でも の武林君語る

身体がにくる感じられてな 関く時に自分等の不健康な 関く時に自分等の不健康な がしたい一念から僅ですがは何んさかして國本に奉公 大学・・・・・・・二十八日島根縣郡智郡 111 2 なるここを 2 からず多忙を傷めてゐるがこ にたえかり、 夫婦和解の下に 2 ならここが 2 がらず多忙を傷めてゐるがこ にたえかり、 夫婦和解の下に 2 がらず多忙を傷めてゐるがこ にたえかり、 夫婦和解の下に 2 がらず多忙を傷めてゐるが。 アサョと呼 2 からず多忙を傷めてゐるが。 111 1 2 ならここを 2 からず多忙を傷めるん 2 がらず多忙を傷めてゐるが。 111 1 2 ならここを 2 がらず多忙を傷めるん 2 がらず多忙を傷めるん 2 がらず多忙を傷めるん 2 がらずると 2 がらずる 2 がらずる 2 がらずると 2 がらずる 2 が

来や残念に思つてるます。 選んでおりませんが、自分 進んでおりませんが、自分 では、このでは、 の身体の不健康を思ふき到 の身体の不健康を思ふき到

私は身体が悪く小甲校を卒

日盛大に擧行 さねんごろになり子供二人を 愛郷塾の指導精神につさ

橘被告堂々說明

人は賊の後を

一等無頭中甲校

日午前。午後に亘り 以て働く事を言ふのだ。工場名に係る第二回公判は二十八 る動勢は誠心を捧け兄弟愛を五事件民間樹被去橘以下十七 ふ動勢でなく私の言はんさす に言ふ勞働即を動勢は私の言 五、一五民間被告公判

のきさ

のさされてゐる

五味氏更に

186

人さして左記の諸氏決定された 日本橋通二十三番地 新京輪入組合理事。 末 吉次

選ればせに名乗をあけた五味

勘跡、得丸爾氏は余りに有名過ぎるのさ、立看板がないのさで、対係者は二人を知るすさで、新係者は二人を知るすが自身が入れないでも安全がしてあるので目下のさころ最も得るるので目下のさころ最も得る 東五條画十三番地 選舉場人口に向って

崎

得丸兩氏

選事場にあてられた室町小學 で入口整理のため条候補者の で人口整理のため条候補者の でも候補者のため条候補者の にて残しあるものにて、左の 十六名は確實に出馬すること になつてるる 選擧人口の 事務所决定 各候補選學



に大連二十九日登蔵通〕 行方をくらましてるた問題の兄玉 勝美さ其の情夫。中薗秀雄は勝美さ其の情夫。中薗秀雄は 勝美されたが中薗は生命には別訳なれたが中薗は生命には別訳な

高野山で情死を企つ

勝美夫人は昏睡、中薗は無事

座での開演の常監津温智會のここる▲來る十一、十二日長春

づかしくない新京一の藝者

る腕たつしやだが近く〇〇

おお前に逃走姿をくらました。 方面に逃走姿をくらました。

は元南陽嶺保線區に勤務してさする例を逮捕された。犯人さする例を逮捕された。犯人の利率にて逃走せん

□段玉香(新)大等 劉淑英 福蘭(奉)叫等 朱玉梅(吉) (新)得點關六、吉二點半。 未練亭主から 高金翠(鰡)1米二 奉九、新二點學

本八百米决勝

本八百米决勝

本八百米决勝

本四 二著 外山(和)二著

魏啓坤(奉)四着 夏贊林

(離)五著 楊惠春(吉)六著

和聞宗(吉)特點關三、专三

料亭『玉川』の

四十五歳位の男が現はれ窓口 111、七加戸屋質店に浴衣掛の 111、七加戸屋質店に浴衣掛の 111、七加戸屋質店に浴衣掛の 出前 專

中捕はる

去

八福昭東さん、二十八日死 本新京新設屯政府聚台住宅十 本新京新設屯政府聚台住宅十

焼 まんぢう どん 門

での結果馴染谷である市内富 での結果馴染谷である市内富 人は驚き前借を踏倒し逃走し出してまり帰宅しないので家 技玉治こv:真山リン(一九)は 川こさ江原光太郎氏方抱へ藝 市内東一條通十四番地科亭玉 へ捜査方を願出た。同署で捜たのではないかざ直に新水署

ムラ 射撃大會で 全滿中等校 商業第三位

新示後七。〇〇相場商を通過 新示後七。〇〇相場商を通過 新示後七。一〇演藝(浦) 新示後七。一〇演藝(浦)

前零字ごろ愛見逮捕した

はり奉統を突きつけ、金銭を を担んださころ件の男は一菱 を担んださころ件の男は一菱 を担んださころ件の男は一菱 を担んださころ件の男は一菱 を担んださころ件の男は一菱 のマム 新水商業學校では二十八日午 前九時より鞍山射撃場に於て 行はれた浦鰡中等単校射撃大 管に出場第三位を獲得したが

本大後九、〇〇調演演藝 「中央放送局編輯」 中央放送局編輯 中央放送局編輯

明出た 一如何 なるこさを は同様するここが出來なこか きゅうか ここが出來なこか

がにし、裁判長が現在の社會 さなって「大学園運動を先づ ではならぬき考へてるために考してもためにある。」 バラノ 爛れた二人 事件の 所に下獄した

学園者で農民で あるさして我が國の現状の憂 ふべき事を纏々陳辯したる後 の世界に冠たる一君萬民の基 が出來め而も國家の七割は農 韶國日 道の建設にありてて國家形體問せるに對し蘊蓄を傾けて政制度を建設せんさしたかで質制度を建設せんさしたかで質 の概念を説明した 五五五

陸軍被告

刑に服し二十九日豐多摩刑務 年もすれば何處へ出してもはだが昨年より一本に映き誇りだが昨年より一本に映き誇り 不にてな風になるだろう

槍だが今に男の一人や二人手をはばじめてだセラで訪しする

安職中學校校

▲講演 誰れでも出來る保健と治病術 講習 九月卅日午後二時より於室町小學

講習料金五十圓治療士の発狀交附 十月一日より三日間毎夜七時より

創始者美座時中先生

勒

聞

病標島に之が到液

各地市場

事はない。此の三歳の秘傳は、古野中の極い。

抗毒素を充有するかを思ふにあまり転売の低内には如何に耐強力なる

りがある、蝮蛇は炭等精密に解

細菌學上の驚異と云はれて居る、

意愿義とされて有名な人々の間に

も三脈に異常がなり

の病人も魂を返へす

塚知する一秘

大阪三品

の免疫性抗毒素を生ずるからであなるのは、其の人の血液中に一種

大にも融って 実 大にも融って 家 来 状を 示

新京日日新聞社 第二三三〇〇番

など實験界の好評価くが如く、健议

の朝晩小盃に一杯づく驚飲す

百貨店にあります

らず、精力機気の影。不著

文下され、「南北南、東京へ側柱

黒からざ

君の歯の

ニセモノあり

奇妙に性的に若返る

コレラが流行

でもズンく全代するのである。 物館へ移植すると、よく店着繁華物館へ移植すると、よく店着繁華との解脱版は、あらゆる動物では、あらゆる動物を対象がある。

る論整版「三脈の秘傳」

養命酒本舖出張所

ない、現代の電影では、動物的製作の天然抗影素を人間に注射する あつて、血液中に抗毒素が多くな。 しては効力確實なるものありと

町上通り四丁目 異 香地養配置本 間出張所へ宛てゝ、直くハガキを よりも芳香美味で、女子供にも歌い、上等の葡萄香、此の養能恵が、上等の葡萄香 全部無料で發送中 小瓶一本に翻

身の上の災難を確實に豫知され飲せられるがよい。

ハガキで發展元へ御申込あれ 小瓶熊進星 (並びに三版の秘售作用)

夫になったり、精力器勝男女がったり繋が間縁の人が更生的に丈ったり繋が間縁の人が更生的に丈 郷者が、歴、つたり、他行思くシピ

中に離蛇の病人を悪を返へすという。 一に離蛇の秋なく群化して貴金中に離蛇の秋なく群化して貴金

專賣特許

例へば南京虫に初めてさいれる もので、肉體に就で言つて見ると

とし、弱り懸きで人間へ根貌的に酸酒の中には、活性のまと、悉く

有して居るが、此の強精分は、

* 馴れると、南京里の澤山居

でも我日本でも蝮蛇酒に起死 でも我日本でも蝮蛇酒に起死

神秘的靈能感 を育する

で人間でも殺さ様の猛衛に駆化して自身を保護する、更に繋ぐべきで用を有して居て、蜈蚣の骸内には、現代科學末知の 靈妙不思議な强精分 赤まむし酒

場合によつては命さへ拾ふことあ





に、針の先の雫にも足りな と、間後が牙管より分泌する間 物がないが、腹蛇は敵に出連

・ も相似されたものであるが、金はから、今之れを公開する。離も平のであるが、金はれたのであるが、金は、 に脱散に自分で出来る便法である たれに 質れこれを試みられよ、意外なる変感によって災戦を発む、



名古屋市中區廣路町石佛

種鷄場 市外

接替名古屋一七五一九番 電話 小牧 一四 六番

王置人工解卵場。超サービス 滿鮮養鷄の有望を確信す

昨冬滿洲一圓を視察旅行致しまして

本家 電話一三貳香。 振替名古屋一八二五九番 おもだか

名家は大自然植物性皇漢薬 藥 美濃國八幡町 料一説明書や体験談もハガキで照會次第進品を持ちます。

急災難を

。三脈の靈感

寸

先は

闇

A.

二百年來家傳祕法

御實驗·御推獎

9

上

も

鹽澤家

福、胃潰瘍、水胃腸病人を数ふむ

のみのコバタ ろからざ りせばし の歯の黄 と女は言 りせばし へり君 と男は言

薬店ニアリ

海州國軍氣指定商會 南東軍軍氣指定商會

昭公司電氣部

各種電燈取付互事請員

内外線電氣互事並二動力据付

新京老松町十二番地

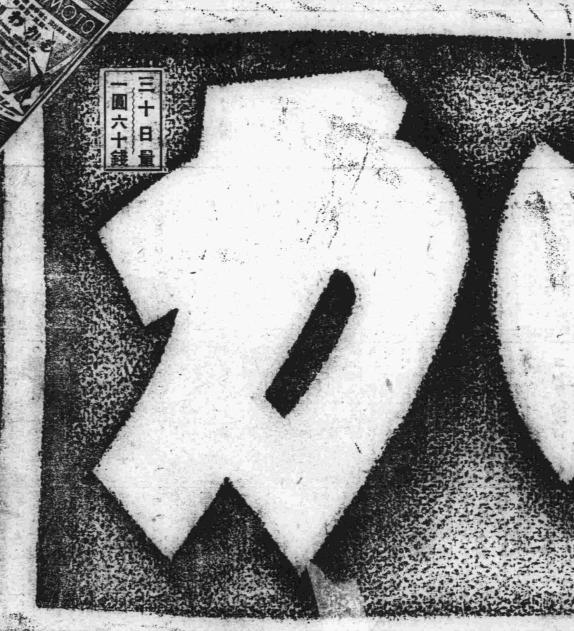


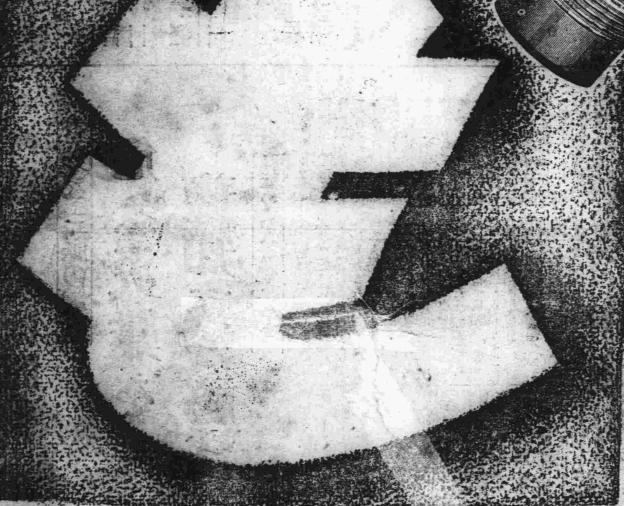
本の多種活性酵素神である。――即ちつわかもと」中とする活性酵素神である。――即ちつわかもと」中とする活性酵素神である。――即ちつわかもと」中の多種活性酵素は、衰退した胃腸の組織細胞を再生の多種活性酵素は、衰退した胃腸の組織細胞を再生のあから、「わかもと」だけで胃酸過多症、胃腸、胃のを、胃臓瘍、腸カタール等を根原から治癒に導く、下垂、胃腫瘍、腸カタール等を根原から治癒に導く、下垂、胃腫瘍、腸カタール等を根原から治癒に導く、下垂、胃腫瘍、腸カタール等を根原から治癒に導く、下垂、胃腫瘍、腸カタール等を根原から治癒に導く、

くじて原症が治癒する結果、原症の症候であ

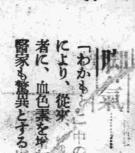


東西劑を服川させると、胃酸過多症の一症候である苔酸は解消して、 るなく、陽家としても而目を失する。といつて例へば、胃酸過多症に する効果に缺けるから、思慮ある醫家は、一の症候だけを解消して時患者を満足させるが、吞酸の原因である胃酸過多症そのものを治 樂劑を川川させて豫朋の効果が現れなくては、患者の不満はいふ迄 病源を治癒する効のない對症薬剤を服用させること 一の症候だけを解消して











茂鹽類、各種ヴイタミン等の築わかもと」中の可溶性の蛋白、

に栄養の吸収が充分に行はれず、たと〜アミノ酸劑の樣な吸收され種の衰弱病者には種々の榮養剤を服用させても胃腸が衰弱してゐる、――こ 給した位では、衰弱の恢復が排々しくないのが當然である。

栄養劑に優る酵素榮養劑